

**PSE マーク付き電源ケーブル S208-203-20M と  
(IEC320 C14 - IEC320 C19)  
富士通サーバ SPARC Enterprise M4000 との  
接続検証結果報告書**

株式会社 昌新  
技術部

1. 作業実施概要

PSE マーク付き電源ケーブル S208-203-15M と、富士通サーバ SPARC Enterprise M4000 との接続検証を実施致しました。

2. 被検証装置

品 名	型名	特記事項
富士通 UNIX サーバ	SPARC Enterprise M4000	
PSE マーク付き電源ケーブル 2m	S208-203-20M	IEC320 C14 - IEC320 C19

SPARC Enterprise M4000



S208-203-20M



3. 作業期間

2012 年 2 月 14 日

4. 作業場所

富士通検証センター(浜松町) Server Room 30-1


## 5. 実施システム構成(概要)

### 5-1.電源コネクタ部

M4000 電源コネクタ部



### 5-2.電源ケーブル

サーバ側	コンセント側	電圧仕様	検証機
S208-203-20M		200V 対応	M4000
 IEC320-C19	 IEC320-C14		

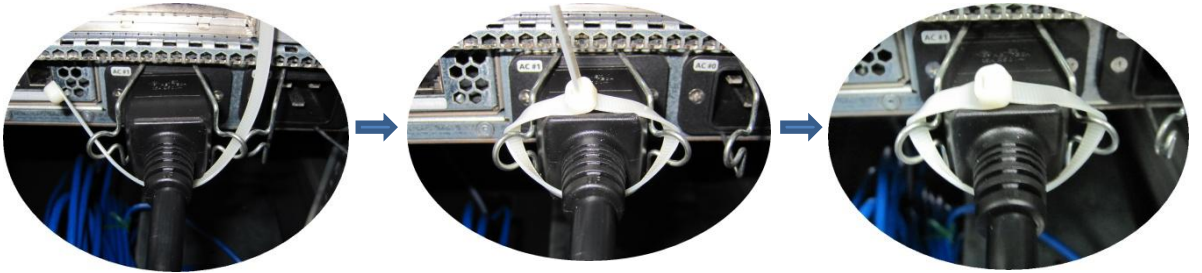
## 6. 確認項目

- (1) ケーブルが仕様の問題ない事の確認
- (2) 電源ユニットツマミとの干渉具合の確認
- (3) 抜け止め金具のはまり具合の確認
- (4) 引っ張った時の抜け具合の確認

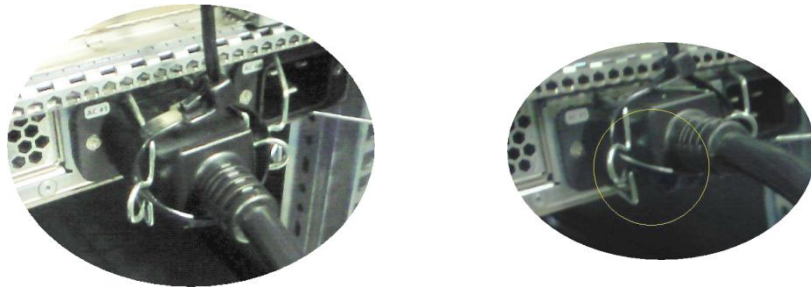
## 7. 検証結果

- (1) ケーブルが仕様の問題ない事の確認
  - 電気用品安全法に従い適合性検査を受けたものであり、特定電気用品を示す PSE マークがある事を S208-203-20M で確認しました。
  - ケーブル容量が定格を満足する事を確認しました。
    - ・S208-203-20M : 15A250V であり、問題ない事を確認しました。
- (2) 電源ユニットツマミとの干渉具合の確認
  - 問題ない事を確認しました。
- (3) 抜け防止金具のはまり具合の確認
  - M4000 に於いては、PSE マーク付き IEC320-C19 仕様のコネクタは標準品コネクタに比べ、高さ方向で高く、抜け防止金具を装着する事が出来ないので、次図の通り、ケーブルタイで固定する事で運用上問題ない事を確認いたしました。

■ロックが外せないタイプでの結束例



■ロックが外せるタイプでの結束例



□推奨するケーブルタイの寸法

強度と作業性から 長さ:240mm前後、幅:7mm前後 を推奨します。

(4)引っ張った時の抜け具合の確認

□コネクタのはまり具合は、標準品と同等であることを確認しました。

□抜け防止仕組みで固定された時には、外れない事を確認しました。

□抜け防止仕組みを外した時には、標準品と同等にケーブルが抜ける事を確認しました。

8. その他

(1)ケーブル長について

今回 検証を行った電源ケーブルのケーブル長は 2メートルとなります。

これは M4000 サーバの引き出し保守の際に、最低限必要な長さを考慮したものになります。

(2) M5000 サーバへの適用について

今回の検証では、M4000 サーバ (SPARC Enterprise M4000)にて検証を行いました。上位機種となる M5000 サーバ (SPARC Enterprise M5000)の電源部も同形状のため、今回の検証で確認した電源ケーブルは、M5000 サーバへの適用も可能です。

製品についてのお問い合わせ先

株式会社昌新

情報システム営業部（担当：瀬川）

TEL:03-3270-5926

E-mail:[IS@shoshin.co.jp](mailto:IS@shoshin.co.jp)

URL:

<http://www.shoshin.co.jp/c/index.html>

以上